



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1405 2024年6月3日

5月15日～6月15日は「情報通信月間」です

2024年度の情報通信月間は、「デジタルで暮らしを変える 世界を変える」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として実施されます。ARIBは、情報通信月間行事として「電波の日記念講演会（5月30日）」を開催しました。また、「周波数資源開発シンポジウム2024（7月5日）」を開催予定です。

ARIBからのお知らせ

「周波数資源開発シンポジウム2024」開催のお知らせ

一般社団法人電波産業会（ARIB）及び国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）は、7月5日（金）に、「周波数資源開発シンポジウム2024」を共同で開催します。

移动通信ネットワークについて、地上のみならず、海や空、宇宙までをつなぐ非地上系ネットワーク（NTN：Non-Terrestrial Network）の実現が、離島・海上・山間部等のカバーや自然災害などの非常時の代替通信手段として期待されています。

しかしながら、携帯電話等の爆発的な増加により、既に多くのシステムに周波数が割り当てられ、周波数資源は限界を迎えつつあるため、NTNの実現に向け、どのように周波数を確保して行けば良いかという課題があります。

本シンポジウムは、「周波数資源をどう使うのか ～私たちの携帯や車が空や宇宙とつながる未来へ～」をテーマに、電波政策や技術開発、アプリケーションやビジネス展開、海外動向等について、産学官の専門家による講演を行います。研究者や専門家のみならず、多くの方々のご参加を心からお待ち申し上げます。

記

- 1 日 時： 2024年 7月 5日(金) 13時から 16時 50分まで（開場 12時 30分）
- 2 会 場： 明治記念館 蓬莱の間（東京都港区元赤坂 2-2-23） / オンライン配信
<https://www.meijikinenkan.gr.jp/>
- 3 主 催： 一般社団法人電波産業会（ARIB）
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
後 援： 総 務 省
協 賛： 情報通信月間推進協議会
- 4 テ ー マ： 「周波数資源をどう使うのか
～私たちの携帯や車が空や宇宙とつながる未来へ～」

- 5 定 員： 明治記念館 150名 ※予稿集／質疑受け付け有り
 オンライン配信（ズーム・ウェビナー） 500名
- 6 参 加 費： 無料
- 7 申 込 方 法： 電波産業会ウェブサイトよりお申し込み下さい。
<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/>
- 8 問 合 せ 先： 一般社団法人電波産業会
 周波数資源開発シンポジウム事務局 担当：松山、^{すみの}角埜
 （Tel:03-5510-8593 e-Mail:freq@arib.or.jp）

情報通信月間参加行事

「周波数資源開発シンポジウム 2024」

—— 周波数資源をどう使うのか ～ 私たちの携帯や車が空や宇宙とつながる未来へ ～ ——

時 間	次 第	講 師（敬称略）
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00～ 13:05	主催者挨拶	国立研究開発法人情報通信研究機構 理事 安井 元昭
13:05～ 13:10	来賓挨拶	総務省 総合通信基盤局 電波部長 荻原 直彦
13:10～ 13:40	基調講演 「NTNをはじめとする 最近の電波政策の動向について」 質疑応答	総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 長 中村 裕治
13:40～ 14:10	講演1 「NTNとBeyond 5Gの高速化に向けた 無線物理層の研究」 質疑応答	湘南工科大学 工学部 電気電子工学科 教授 加保 貴奈
14:10～ 14:40	講演2 「NTNの実現に向けた周波数確保の取組み ～世界無線通信会議(WRC-23)の結果」 質疑応答	KDDI株式会社 技術統括本部 顧問 河合 宣行
14:40～ 15:00	(休憩、意見交換)	
15:00～ 15:30	講演3 「Space Compassの描く マルチオービット戦略とサービス展開について」 質疑応答	株式会社 Space Compass 取締役 CTO 中里 真一

15:30～ 16:00	講演4 「衛星通信用地上局アンテナ開発 および 3GPP 標準化動向」 質疑応答	シャープ株式会社 新規事業開発統轄部 統轄部長 兼 研究開発本部 通信・映像標準技術研究所 所長 今村 公彦
16:00～ 16:30	講演5 「地上から宇宙まで、 新たな領域を目指す光・電波融合技術」 質疑応答	国立研究開発法人情報通信研究機構 ネットワーク研究所 ワイヤレスネットワーク研究センター 宇宙通信システム研究室 室長 辻 宏之
16:30～ 16:50	(意見交換) 閉会	

プログラムは予告なく変更される場合があります。

各講演終了後、会場で参加されている方からの質疑を受け付けます。

ARIB の動き

第 42 回理事会を開催

5 月 29 日（水）第 42 回理事会を開催し、津賀会長による議長のもと 2023 年度の事業報告及び決算並びに第 14 回定時総会の開催等について審議し、事務局提案のとおり可決又は承認され終了しました。

第 42 回理事会において、決定、承認又は報告された事項の概要は次のとおりです。

- 1 2023 年度の事業報告及び決算について
2023 年度の事業報告及び決算について承認の上、定時総会に付議することとされました。
- 2 公益目的支出計画実施報告書
毎事業年度経過後 3 箇月以内に内閣総理大臣あてに提出することとされている公益目的支出計画実施報告書について承認の上、定時総会に付議することとされました。
- 3 第 14 回定時総会の開催について
第 14 回定時総会は、2024 年 6 月 25 日(火)午後 3 時 30 分からホテルニューオータニにおいて、2023 年度の事業報告及び決算、役員等の選任などを議題として開催することが決定されました。
- 4 その他の報告事項等
理事の職務執行状況報告、理事会決定に基づき会長に一任された入会承認等の実績報告等が行われました。

「電波の日記念講演会」を開催

5月30日（木）、一般社団法人電波産業会は、情報通信月間推進協議会協賛、総務省後援のもと情報通信月間参加行事「電波の日記念講演会」を明治記念館で開催しました。本年も会場とオンラインによる配信を行い、全国の参加者にもご聴講いただきました。

本講演会では、「電波利用の現状と今後の展望」をメインテーマに、基調講演として総務省 総合通信基盤局長の今川拓郎氏から「電波政策の最新動向」、続いて、ソフトバンク株式会社 専務執行役員 兼 CTO の佃英幸氏から「ソフトバンクの目指す次世代デジタル社会」、一般社団法人日本民間放送連盟 会長の遠藤龍之介氏から「民間放送の価値を最大限に高め、社会に伝える」、パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 常務執行役員 CTO CIO 環境担当の山根洋介氏から「物と心が共に豊かな理想の社会へパナソニックグループの貢献」と題して、それぞれご講演いただき、会場とオンライン合わせて約270名の方々が熱心に聴講されました。



電波の日記念講演会の様子



総務省
今川 氏



ソフトバンク株式会社
佃 氏



一般社団法人
日本民間放送連盟
遠藤 氏



パナソニック エンターテ
インメント&コミュニ
ケーション株式会社
山根 氏

ITU-R WP 5A 第 31 回会合における ITS 関係の概要報告

WP 5A (Working Party 5A : 5A 作業部会) は、ITU-R の SG5 (Study Group 5 : 第 5 研究委員会) の下に設置され、ITS (Intelligent Transport System : 高度道路交通システム) を含む、陸上移動業務に関する検討を行っている専門家会合であり、通常年 2 回程度開催されています。

1. 会合の概要

日 程： 2024 年 5 月 14 日 (火) ～5 月 24 日 (金)

場 所： スイス・ジュネーブ (Web 会議併用)

参加者： 各国、各団体から約 320 名が参加。(日本は総務省移動通信課係長 重成知弥氏を団長に 14 名が参加。当会から、横山次長が参加。)

2. ITS に関する主要結果

・ ITS に関する今会期に取り組む研究テーマの検討

今研究会期 (2024-2027 年) の初回である今回会合では、WP5A で今後どのようなテーマに取り組むかについて議論することとされてきました。これに関して、日本、米国、中国及び韓国からの提案に基づき検討がなされました。審議の結果、「将来の ITS」というテーマの下、その機能や今後の進化等に関して新たに ITU-R 報告を作成することで合意し、その目次の素案が作成されました。この目次素案をもとに、次回会合でさらに議論することとなっています。

今回日本から、ITS 情報通信システム推進会議 (事務局 : ARIB) での検討に基づき、将来の ITS の進化及びその無線通信要件に関する全体的な枠組みを具体的なテーマとして WP5A に提案しました。上述のとおり、この日本寄与文書も反映される形で目次素案が作成されています。

・ ITS の周波数帯の調和

ITS 用周波数帯の調和に関する勧告 M.2121 及び ITS のアレンジメント例に関する報告 M.2444 については、2019 年に初版を、その後 2023 年に改訂版を発行しています。今回、両文書について、インドが 2022 年に 5.9GHz 帯を ITS 用に制度化したことを新たに記載する更新が行われ、再改訂版の作業が始まりました。今後も、自国の制度化の記載を希望する国が続くであろうことを考慮し、完成時期を 2026 年 5 月の WP5A 会合としました。

3. 次回会合予定

次回第 32 回会合は 2024 年 11 月 18 日～11 月 29 日に開催予定です。

ARIB 内会合（6月3日～6月7日）予定

6月5日（水）：デジタル放送システム開発部会 多重化作業班

Web会議併用

国際会合（6月3日～6月7日）予定

6月3日（月）～6日（木）：APT APG27-1 会合（中国・上海）

Web会議併用

総務省などからのお知らせ

「5G 普及のためのインフラ整備推進ワーキンググループ報告書（案）」 に対する意見募集

【令和6年5月24日発表】

総務省では、利用者が「5G ならではの」の通信を実感できるような 5G インフラ整備を進めていくため、5G インフラの新たな整備目標の設定等について検討を行うことを目的として、令和6年3月から「5G 普及のためのインフラ整備推進ワーキンググループ」（主査：森川博之 東京大学大学院工学系研究科 教授）を開催しています。

今般、本ワーキンググループにおける検討結果を踏まえ、「5G 普及のためのインフラ整備推進ワーキンググループ 報告書（案）」が取りまとめられました。本報告書（案）について、令和6年5月25日（土）から同年6月24日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和6年5月24日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp